



昭島市長 白井伸介

任期満了に伴う昭島市長選挙として、10月6日(日)に投票・開票が行われました。結果は下の表のとおりです。

なお、任期は令和6年10月21日～10年10月20日の4年間です。

☆詳しくは、選挙管理委員会事務局へ。

市長選挙結果 〈敬称略〉	当選	うすい 伸介	2万 117票
		田所 良平	1万5237票
		当日有権者数	9万4104人
		投票者数	3万5713人
		投票率	37.95%

市長就任の挨拶

10月6日の市長選挙におきまして、市民の皆様からご信任を賜り、第19代昭島市長として、引き続き、その重責を担わせていただくことになりました。

平成28年10月の市長就任以来、飛耳長目^{ひじちやうもく}(※)をモットーに現場主義を貫き、自らの目で課題の本質を見極めながら、市政運営に邁進^{まいしん}してまいりました。

この間、「行財政改革」、「安全・安心なまちづくり」、「教育・子育て支援」、「高齢者がいきいきと暮らすまちづくり」、「環境との共生のまちづくり」、「スポーツ・文化・産業の振興」の6本の柱を政策の基本に据え、社会経済状況の変化にも対応し、新型コロナウイルス感染症対策、定額給付金、水道料金・下水道使用料減免事業をはじめとするソフト事業、アキシマエンス(教育福祉総合センター)の開館、学校給食共同調理場の更新をはじめとするハード事業の両面から、市政各般にわたるさまざまな行政課題解決に取り組み、人口流出に歯止めがかからない自治体が多い中、本市においては、約2000人の人口増加となったところであります。

一方、少子・高齢社会の構造的な課題に加

え、長引く物価高騰などの影響により、本市においても、中・長期的な財政見通しはたいへん厳しいものがあります。こうした状況下におきましても、年々、脅威を増している自然災害にしっかりと備えながら、可燃ごみ処理施設をはじめとする公共施設老朽化対応など、喫緊の課題にもしっかりと取り組んでまいります。

今任期におきましても、愛着と誇りあふれる「ふるさと昭島」、多様性と意外性のある「楽しいまち昭島」の実現に向け、現在、そして、将来の社会経済環境をしっかりと見据えながら、市民の皆様の声、議会の提言を踏まえ、市の魅力に一層の磨きをかけ、「住んでみたい、住み続けたい、ここで生業^{なりわい}をしたい、生業をし続けたい、訪れてみたい」、「昭島大好き!」と実感していただけるよう、初心と感謝の気持ちを忘れることなく、そして、おごることなく謙虚に、市民の皆様と共に全力で取り組んでまいります。

皆様のお力添えを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(※飛耳長目＝物事の観察が鋭く速いこと)